

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 16 年 12 月 2 日 (2004.12.2)

【公開番号】特開 2003-66690 (P2003-66690A)
【公開日】平成 15 年 3 月 5 日 (2003.3.5)
【出願番号】特願 2001-254184 (P2001-254184)
【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 G 15/01

G 0 3 G 15/16

【F I】

G 0 3 G 15/01 1 1 4 Z

G 0 3 G 15/16 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 12 日 (2003.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

像担持体を帯電する帯電手段と、画像情報に基づき前記像担持体に静電潜像を形成する露光手段と、前記静電潜像にトナーを供給し、前記静電潜像をトナー像として可視化する現像手段と、前記トナー像を転写材に転写する転写手段とを有する画像形成ユニットを複数個備えた画像形成装置において、前記転写手段の転写電流が、画像形成ユニット毎に異なることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

各転写手段の転写電流は、像担持体上のトナーが転写材へ転写される割合と、転写材に一度転写されたトナーが他の画像形成ユニットの像担持体へ戻った後の前記転写材上に残ったトナーの割合とに基づき決定されることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

複数の画像形成ユニットの内、先頭の画像形成ユニットにおいて、転写電流を最も多く必要とするトナーを用いることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 4】

複数の画像形成ユニットの内、最後段の画像形成ユニットにおいて、転写電流が最も少ないトナーを用いることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】

上記の目的は、像担持体を帯電する帯電手段と、画像情報に基づき前記像担持体に静電潜像を形成する露光手段と、前記静電潜像にトナーを供給し、前記静電潜像をトナー像として可視化する現像手段と、前記トナー像を転写材に転写する転写手段とを有する画像形成ユニットを複数個備えた画像形成装置において、前記転写手段の転写電流が、画像形成ユニット毎に異なることにより達成される。